

令和6年第4回浜村警察署協議会開催状況

開催日時	令和6年12月13日(金)午後1時30分から午後2時50分まで	
開催場所	浜村警察署	
出席者	委員 (定数4人)	山田会長、宮石委員、花田委員 以上3名
	警察	岩垣署長、近藤管理官、中井生活安全刑事課長 生活安全刑事課員、警務課員 以上5名
議 事 概 要		
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 会長挨拶 今年最後の協議会となった。本日の協議事項は特殊詐欺についてである。この特殊詐欺は、私たち自身、いつ被害者になってもおかしくない身近な犯罪である。本日は、生活安全刑事課長から「特殊詐欺等の発生状況等」について説明をしていただく。</p> <p>(2) 署長挨拶 現在、年末の交通安全県民運動期間中であり、交通死亡事故の抑止に向けた各種取組を行っている。現在のところ、当署管内で交通死亡事故の発生はないが、県下では交通死亡事故が10件発生し、12名の方が亡くなられており、非常に厳しい情勢である。 また、本日は、生活安全刑事課長から「特殊詐欺等の発生状況と被害防止活動」について説明させていただくが、特殊詐欺は全国的に、また県下において依然として発生している状況である。今年はSNS型投資・ロマンス詐欺が増加しており、全国的に特殊詐欺の発生が後を絶たず、県下においても同様の状況である。その被害額は去年の特殊詐欺の被害額を大きく上回るなど、非常に厳しい情勢である。 浜村警察署としては、慌ただしくなる年末に向けて、警戒を強め、管内の治安維持に努めていきたいと考えている。本日、委員の皆様には、貴重な御意見を願います。</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 特殊詐欺等の発生状況と被害防止活動について 生活安全刑事課長が、本年10月末現在の特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺被害の発生状況並びに特殊詐欺等被害防止活動の状況について説明を行った。各委員が、還付金詐欺事案での実際の音声データ、架空料金請求詐欺の手口で使用される偽のウイルス感染警告画面の表示、特殊詐欺の手口を説明したDVDを視聴した後、次のとおり協議が行われた。 委員：新聞の折り込みチラシとして、広報紙を配布する取組は、非常に良いと思う。先ほども、協議の最中に「+1」と表示された国際電話から着信が入っていた。今後も住民への広報など被害防止活動をしっかりと願います。 委員：国際電話と分かる番号から電話がかかってきたときに、インターネットでその電話番号を検索すると、詐欺の電話だと分かることがある。番号自体を使えなくしたりできるのか。 警察：可能な場合はあるが、その運用は厳格になる。犯罪の内容によっても変わってくる。 委員：先ほど視聴した動画の中で「この電話は録音されています。」と録音機能の自動音声流れて犯人役が嫌な顔をしていた。良い方法だと思うので活用したい。 委員：迷惑メールがたくさん来るが、通常のメールと迷惑メールとの振り分けはできるのか。</p>		

委員：迷惑メールの受信拒否設定を行えば可能である。不安であれば、携帯会社の店舗に行き、確認してもらってはどうか。

委員：先ほど視聴した偽のウイルス警告画面の表示について、タスクマネージャーで止められると思うが、ランサムウェアに感染したときのように、パソコンを乗っ取られる手口が一番怖い。

警察：警告画面は説明どおりタスクマネージャーで停止させられる。分からない場合はパソコンを強制終了することも一つの方法である。

委員：架空料金請求詐欺について、本物の請求の場合と詐欺の場合との見分け方はあるか。詐欺の場合、放っておくべきとは分かっているが、内容証明郵便で送られてきた場合、放っておいたら裁判になる。

警察：見分けが難しい場合など不安があるときは警察に相談してほしい。

(2) 警察業務全般に対する意見・要望など

委員：最近、強盗や闇バイトなどのニュースが流れるが、子供の時からしっかり犯罪について理解させていくことが重要である。

警察：今後、管内の高校で闇バイト防止についての広報を行う予定である。

委員：日本が平和だということの裏返しかもしれないが、犯罪は駄目だという認識が、子供世代に浸透していないのではないか。先般開催された、鳥取県警察署協議会代表者会議で話題に出ていたが、特殊詐欺撲滅のため小学生に寸劇を披露したと聞いている。教育を大切にしていきたいものである。

3 その他

次回協議会は、令和7年1月頃に開催する予定である。